

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

震災・津波・原発事故から3年。
「震災前よいも、いいもの作ろう」を合言葉に。
浜に笑顔が少し戻ってきました。
(岩手県大船渡市綾里浜)



岩手県大船渡市綾里のコタニ岩手工場

震災から丸3年。

何もかも流され失った、東北・三陸の浜の人々。

まだまだ多くの方が不自由な仮設住宅で暮らし、遠い仕事場に通う状況ですが、確実に前に進んでいます。



1歩ずつの再開を、
みんなで支えましょう。

※次ページは、岩手県大船渡市綾里(りょうり)で海藻製品を製造しているコタニさんからの手紙です。

【3月の予定】 ※2/28現在の予定です。

●地域での活動・催し

●基幹運営・対外関係

3/9(日) 10時～14時
つくば
リサイクルマーケット
(つくば中央公園・水の広場)



↑つくばリサイクルマーケットHPより

3/8日(土) 11時～
原発の無い福島を!
県民大集会

3/15日(土) 9時～11時
原発事故! 避難計画は立てられるか?
(上岡直見さん講演会)

3/22(土) 12:30～
おしどりマコ・ケン
トークイベント(土浦市民会館)

催し情報は、常総生協のホームページもご覧ください。

【大切なお知らせ】

今回のニュースには、

●役員選挙公告(4ページ)

●総代選挙公告(中折込み)

の2つのお知らせがあります。

ぜひご覧頂き、立候補をお願い致します。

みんなで一緒に、笑顔あふれる常総生協をつくしましょう!

13.11から3年。生産者からのリレーメッセージ

わかめの里、岩手県・綾里の浜からみなさんへ

**浜の人たちの笑顔が
少し戻ってきた気がします。**

震災から、間もなく3年を迎えます。

やっと、瓦礫の処理が本年3月で終了の
目途がつかしました。

しかし、住居に関しては一部の集団移転
地や公営住宅が出来始めた段階で、まだ
多くの方が仮設住宅で暮らしています。
また、浸水地区の町の再開発は計画通り
には進んでおらず、先が見えない状況が
続いております。

大船渡の産業は、沢山の方々の支援を
頂いて再開し、震災前以上に生産できる
努力を日々行っております。



岩手県大船渡市綾里（りょうり）の浜

弊社工場も含め、「従来あった場所」で
再開した工場がほとんどで、周辺は瓦礫
も片付き更地になり、寂しい状況になっ
てしまいました。

しかし、働く事に以前より意気込みを感じ
ているようにも思います。また、以前のよう
に笑顔も見られるようになってきたとも感じ
ております。

今は、皆様に納得して頂ける良い商品を
製造する事に、ひたすら努力しております。

岩手県の「わかめ」も間もなく本格的な
収穫期に入り、3月14日の初回入札を
迎えるに当り、生産者（漁業者）の方々の
準備も最終段階に入っております。



コタニ岩手工場のみなさん

本年の「わかめ」の状況は現段階では
順調で、皆様に質の良い「わかめ」をご
案内出来ると思っております。

今後も商品製造に努力をしてみたいので、
引き続きご愛顧頂けます様、宜しくお
願い申し上げます。

平成26年2月27日

有限会社 コタニ
代表取締役 小谷幸治

【3月3回号掲載のコタニさんの海藻乾物】



318

三陸産 きざみ芽かぶ

- ・岩手県産の良質な乾燥めかぶです。
- ・海藻のぬめり成分は主に水溶性の食物繊維（アルギン酸ナトリウム、フコイタン）です。
- フコイタン：整腸作用や免疫力強化、最近ではがん細胞の死滅作用（アポトーシス）も注目されています。



427

万能汁物の具

- ・4種の海藻（岩手産わかめ、芽かぶ、ふのり、岩のり）をませ合わせた汁物の具です。
- ・そのまま散らすだけで、磯の香り豊かな汁ものが楽しめます。

来週以降も、震災後、地域と共に歩む生産者からのメッセージをご紹介します予定です。

【子ども健康調査・・・血液検査2回目】

まだ免疫細胞低下傾向か・・・

放射能ホットスポットエリアの子どもたちの甲状腺機能、免疫細胞の変化や傾向を見守り続ける

2/8～9に生協本部にて、子どもたちの2年目の「血液検査」を実施しました。両日とも大変な大雪でしたが予定した231名中、136名の子どもたちが血液検査を受けました。(出来なかった子は5月に予定)



○甲状腺異常と免疫力を血液から見る

この血液検査は、福島原発事故で放射能ホットスポットエリアとなったこの地域の子どもたちの健康診断のひとつとして、放射線の影響で

- ①甲状腺機能に異常がないか（ホルモン）
- ②免疫力が低下していないか（白血球）

を調べる目的で実施して2年目となります。

初期のヨウ素吸入被ばくで心配される甲状腺機能におきましては、甲状腺刺激ホルモンが多めに分泌されている子が数名いましたが、実際の甲状腺ホルモンが少ないわけではなく、全体として甲状腺機能の異常を示す血液の子はいませんでした。

○放射線被ばくに感応する血液細胞

放射線を浴びると白血球などの免疫細胞が減少します。白血球は免疫力の指標です。日常的に放射線を浴びることになってしまっていますのでこの白血球細胞の数や内訳(好中球、リンパ球)を見ています。

昨年は小児科医の先生（三田先生）にもその結果を見て頂き、福島の子どもたちと同様に免疫細胞の低下傾向があるとの指摘を頂いていました。

今年は、CRPという検査項目を加えて、風邪やケガのせいで白血球数が上がっている子のデータを除いて統計処理を行いました。

○検査の結果（暫定的報告）

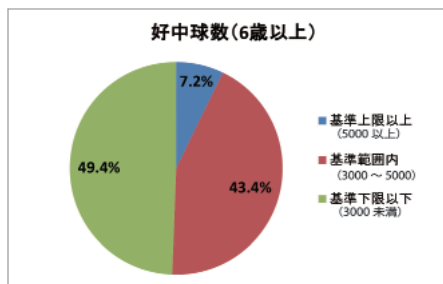
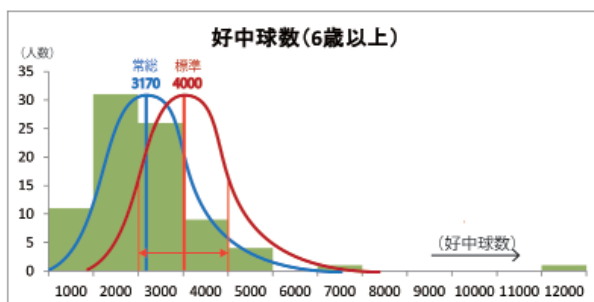
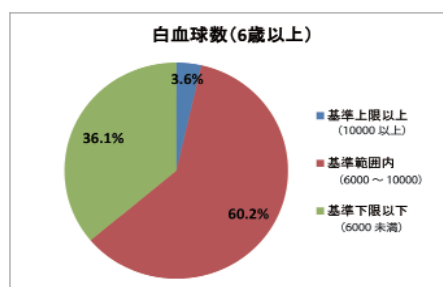
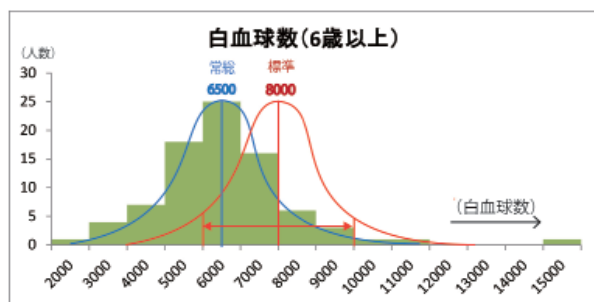
数がわずかに136名で母数が少ないので断定はできませんが、**6歳以上の子に、一般の値（標準値）より白血球・好中球数が少ない傾向が見られました**（下のグラフ）。なお、5歳以下の子のグループは標準内でした。（5月に全数完了次第、本報告します）

○白血球数などが少ない場合

「白血球が標準値の半分くらいしかない！どうしよう」という場合がありますが、白血球数や好中球数が半分になったからと言って免疫力が半分に低下したということではありません。私たちの身体の免疫細胞は最低必要な量の10倍くらいの余裕を持って作られています。

細胞の放射線感受性も個人差が大きいので、2011年以降に風邪を引きやすくなったとかの症状があって、さらに白血球数や好中球数が引き続き少ないような場合は、休日などの機会に「保養」に行き身体の様子を見たり、発酵食品や繊維等で腸管免疫を高めるような食生活を意識的にすすめておくことが必要かと思えます。

○生協では、子どもたちの甲状腺検診とあわせて、血液の様子も検診してデータも蓄積して可能な限り万全の体制をとりますが、何より身近にいる親が子どもたちの健康の様子を見守っていて下さい。



大雪で今回の血液検査を受けられなかった方は、5月に再度予定していますので連絡をお待ち下さい。

【役員選挙公告】 常総生協は今年で 39 年目を迎えます。

第 21 期の役員（理事・監事）を選出いたします。

○毎期、理事・監事が入れ替わりながら、組合員が運営を経験し、事業と活動を継承していきます。

○任期は 2 年間です。

○地域や年代に偏りがないように、できるだけ各地区から募ります。そしてベテランさんも、新人さんも組合員であれば誰でも理事・監事になれます。これまでも各地区から、そして大先輩から赤ちゃん連れの若手理事まで、幅広い年代層で構成されています。

【理事の仕事】

○毎月 1 回定例の理事会があります。
○生協主催の催し等企画運営します。
○地区の総代さんと協力しながら各地区の催し、組合員懇談会などを開催し組合員の交流をはかります。

【監事の仕事】

○毎月の理事会に監事として参加し、民主的な手続きで運営が行われるように助言します。
○決算監査や業務監査（理事会の運営）をおこないます。

2014 年 3 月 3 日

常総生協第 21 期役員（理事・監事）選挙公告

常総生活協同組合
役員選挙管理委員会
委員長 佐藤 登志子

常総生活協同組合 第 41 回通常総代会開催にあたり、当組合の定款第 19 条及び役員選挙規約第 6 条に基づき、第 21 期の役員選出の公告を行います。

記

1. 定 数 理事 14 名
 監事 3 名
2. 任 期 2 年
3. 受付け期間：3/3(月)～4/18(金)
4. 立候補をされる方は、担当までお申し出下さい。
後日、所定の手続用紙をお届けします。